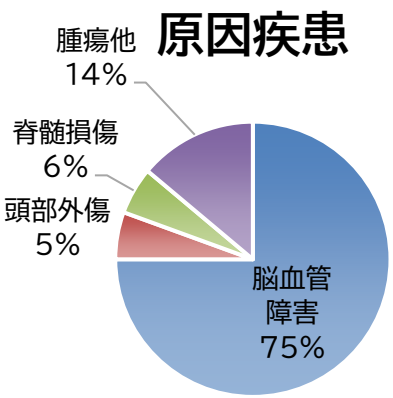
滋賀県立むれやま荘

自立と

ゆたかな社会参加

の維持・向上のための、

障害福祉サービス事業所です。



医療

急性期病院
①命を救う
②マヒが残らないように治す

転院

回復期リハビリ病院
身体機能の向上

退院

福祉

むれやま荘（生活リハビリ）
①生活機能の向上
②自分の生活を取り戻す準備
③人とのつながり

入所

通所

むれやま荘

自宅・グループホーム
①新たな生活の工夫（より豊かな社会参加）
②在宅サービスや社会資源の活用（自立）

病気や事故の後遺障害

一次的障害

身体障害

手足のまひ
ふらつき
視野の障害
言葉の障害

高次脳機能障害

疲れやすい
記憶できない
集中できない
段取りわからない
怒りっぽい
元気がない
自己状態わからない
こだわり

本人の不安
苦しみ

周囲からのプレッシャー
怠けてる
甘えてる
がんばれ
働け
将来どうする

家族の不安
苦しみ

二次的障害

うつ
イライラ
自己否定
自信喪失

依存
孤独
お金に困る

高次脳機能障害は環境をよくすることが大切

■ 人ー良好な人間関係　障害の理解

■　　共感し寄り添う姿勢

■ もの― 構造化　失敗しにくい環境

■　　＝予定表、ラベリング、整理整頓

■社会資源―専門家、制度、保険、年金、サービス

むれやま荘では“生活リハビリ”をやります。

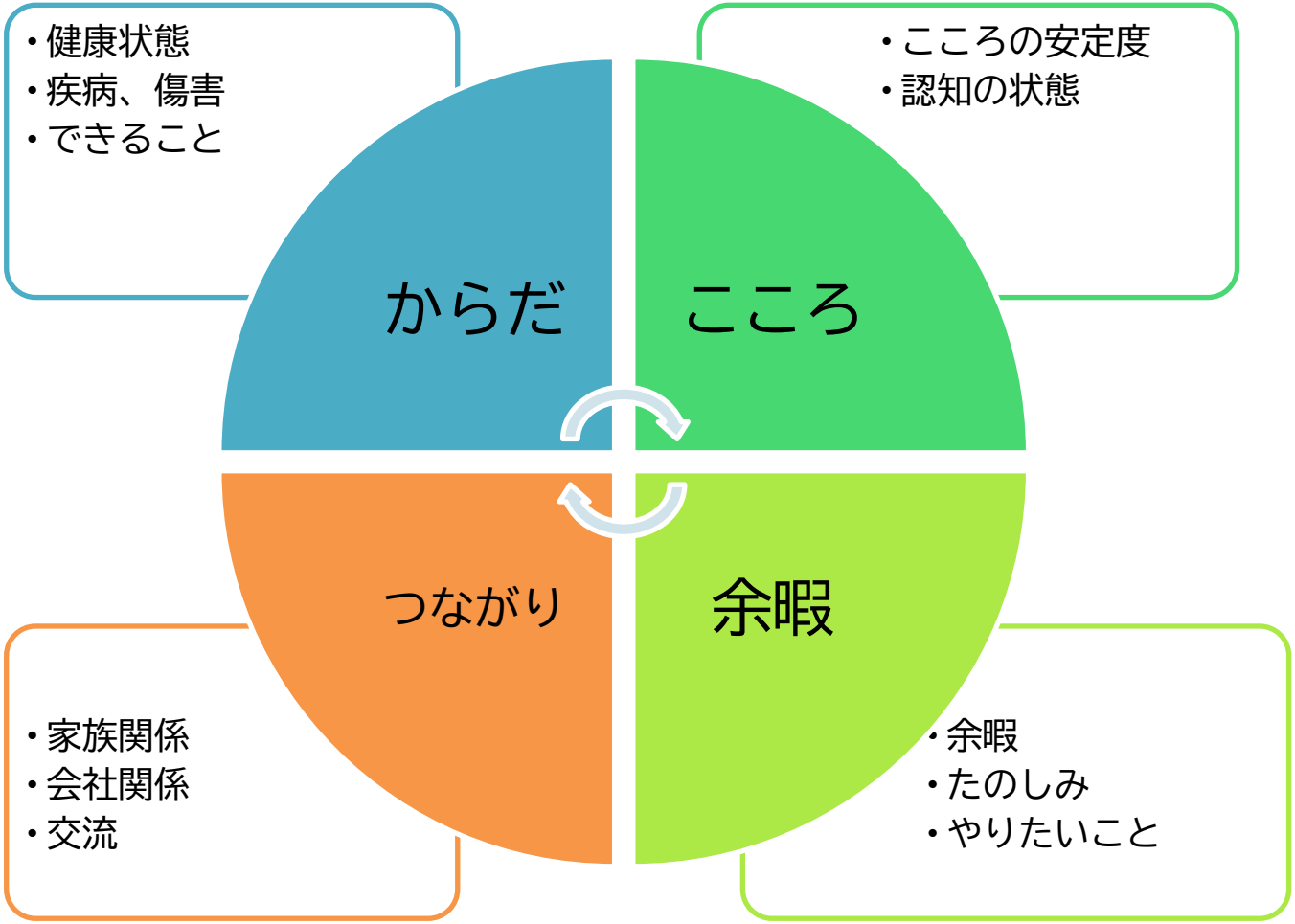
生活機能を高めるには
自身の状況を理解し、
よりよい生活を望む気持ちが大切です。

★脳や手足の障害されていない機能を伸ばしましょう。
★自分の中の隠された能力を開発しましょう。
★福祉用具や制度を利用する準備をしましょう。
★仲間と一緒に活動を楽しみましょう。

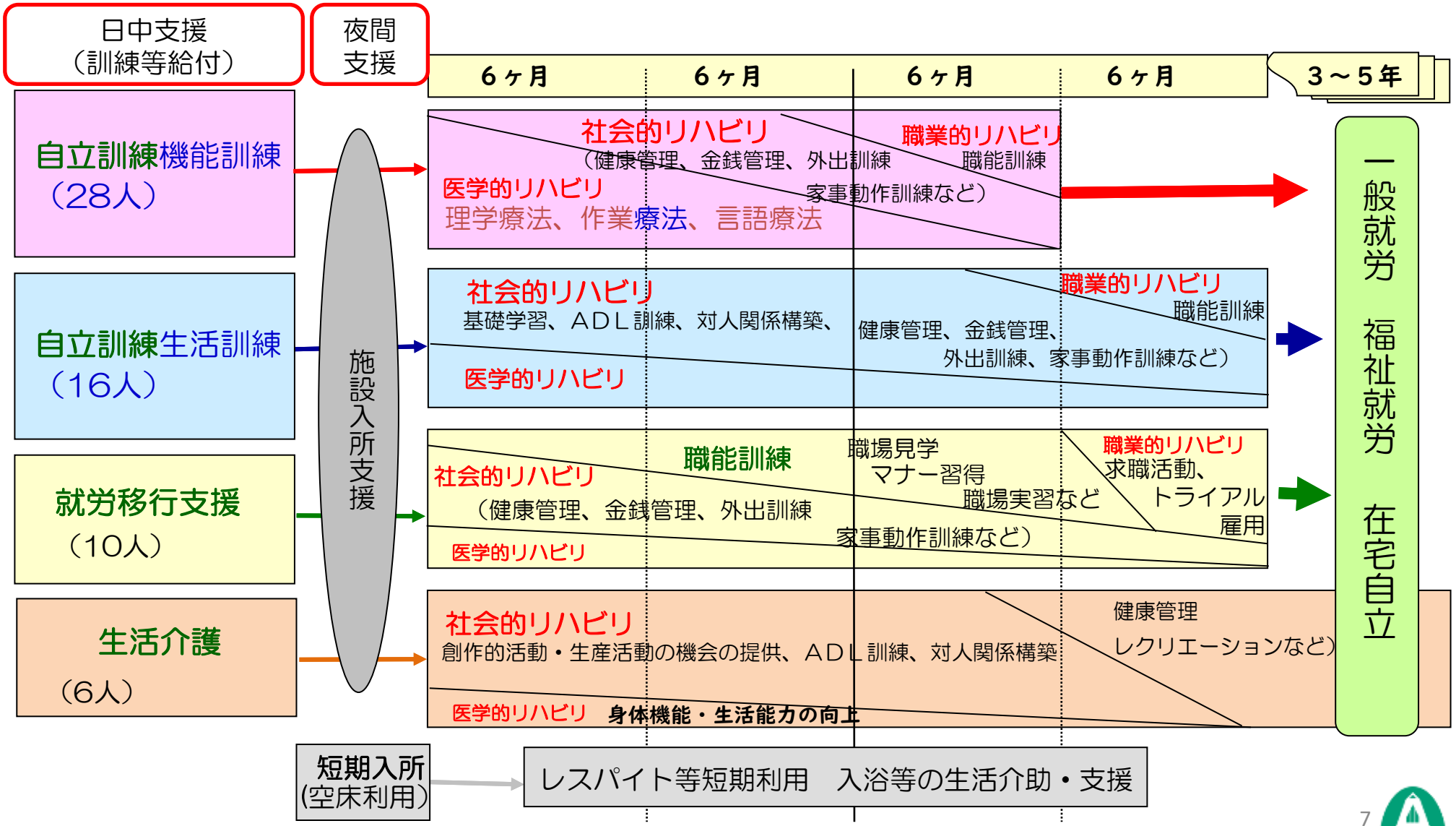
自身の状況を理解⇒アセスメント

利用開始2～4週間

初期評価
↓
中期評価
↓
終期評価
↓
利用終了



むれやま荘のサービス


日中支援
（訓練等給付）
夜間
支援
６ヶ月
６ヶ月
６ヶ月
６ヶ月
３～５年
自立訓練機能訓練
（28人）
社会的リハビリ
（健康管理、金銭管理、外出訓練
家事動作訓練など）
職業的リハビリ
職能訓練
医学的リハビリ
理学療法、作業療法、言語療法
自立訓練生活訓練
（16人）
社会的リハビリ
基礎学習、ＡＤＬ訓練、対人関係構築、
健康管理、金銭管理、
外出訓練、家事動作訓練など）
職業的リハビリ
職能訓練
医学的リハビリ
就労移行支援
（10人）
職能訓練
職場見学
マナー習得
職場実習など
社会的リハビリ
（健康管理、金銭管理、外出訓練
家事動作訓練など）
職業的リハビリ
求職活動、
トライアル
雇用
医学的リハビリ
生活介護
（6人）
社会的リハビリ
創作的活動・生産活動の機会の提供、ＡＤＬ訓練、対人関係構築
健康管理
レクリエーションなど）
医学的リハビリ　身体機能・生活能力の向上
施設入所支援
一般就労　福祉就労　在宅自立
短期入所
(空床利用)
レスパイト等短期利用　入浴等の生活介助・支援

日課（入所）

7:30～　朝食タイム

9:30～15:30　訓練タイム
月水金は入浴日

18:00～　夕食タイム

余暇

22:00　消灯

日課（平日昼間）

9：30　朝礼がはじまります。

9：45　訓練や活動の時間　４コマ

12:00　お昼

13:15　訓練や活動の時間　４コマ

15:30　訓練が終わります。

個別のカリキュラム

リハ３０分枠

作業６０分枠

生活120分枠

お名前		様		開始日　4年　1月　5日		
		月	火	水	木	金
朝礼（ 9:30 ～ 9:45 ）						
1限目	9：45～10:15	縫製	パソコン	パソコン	パソコン	縫製
2限目	10：15～10:45					
休　憩　（ 10:45 ～ 11:00 ）						
3限目	11：00～11:30	軽作業	縫製	縫製	生活リハ	ＳＴ
4限目	11：30～12:00					生活リハ
昼休み（ 12:00 ～ 13:00 ）						
5限目	13：15～13:45	パソコン	ＯＴ	生活リハ	縫製	プール
6限目	13：45～14:15		ＰＴ			
休　憩　（ 14:15 ～ 14:30 ）						
7限目	14：30～15:00	ＰＴ	カフェ運営	ＰＴ	パソコン	パソコン
8限目	15：00～15:30	生活リハ		生活リハ		

むれやま荘の活動内容

医学的リハビリテーション

（個別訓練・グループワーク）

病院で行われている医学的リハビリとは異なり、生活場面での活動性を上げることを重視しています。

就労準備訓練

（職業的リハビリテーション）

復職に向けたとりくみ。福祉就労及び一般就労も視野に入れつつ、必要な配慮、環境調整を検討します。

社会生活力の向上

（社会的リハビリテーション）

“好き”や“やりたい”の気持ちを見つけてできることを積極的にやっていきます。

医学的リハビリテーション

理学療法	・歩行訓練・車椅子訓練・水中歩行訓練・スポリハ・自宅のケアアドバイス。。。
作業療法	・個別課題・市街地訓練・調理訓練・自宅のケアアドバイス。。。
言語療法	・プリント学習・メモリーノート・自動車運転適性検査。。。
心理面談	・ 面談・神経心理学的検査

就労準備訓練・就労移行支援

基礎作業

- ボルトナット、ボールペン組み立てなどの簡単な作業を行います。

軽作業

- 基礎作業過程を終了後、企業からの下請け作業にチャレンジして、集中力、持続力、巧緻性等の力をつけていきます。

縫製

- 組紐、ミシンを使った縫製作業により雑貨品の制作をします。

パソコン

- 習得度に合わせてExcel、ワードによる文書作成を行います。P検定、アビリンピックチャレンジされる方もあります。

社会生活力促進“グループリハ”

カフェ運営グループ

- 月1回の喫茶を開店を目標に、週1回運営会議を行います。
- 自分たちで運営のノウハウを学び、力をつけていきます。

カラオケグループ

- コミュニケーションの課題に取り組むグループ活動として実施します。
- 木曜日7．8コマ

外出グループ

- テーマ別グループ活動

居住棟リハ

- 入浴・食事・トイレ・洗濯等生活場面でのアドバイス

社会生活力促進“生活リハビリ”

マイプロデュース	・OBや利用者の方を講師として、学びあう機会とします。
園芸	・車椅子の人もできる園芸。野菜や花の栽培。
創作	・モノを作るをテーマに創作活動を行います。
外出	・気分転換に図書館や公園を散策 ・社会資源の見学
クッキング	・簡単な調理を自分たちでやります。
見たい!知りたい！使いたい！ICT	・ICT媒体を使って活用術を学びます
のんびびtime	・訓練ではなく、自分のペースで心と体をリラックスする過ごしのプログラム

社会生活力向上“グループ支援”

機能訓練G

- ストレッチプログラム ㈬午後

生活訓練G

- A人生年表
- Bミーティング
- C散策

就労準備G

- 企業・就（A・B）見学・体験

生活介護G

- チャレンジプログラム「自分で決めて行動する」㈫午前

特別活動（月1回程度）

むれやまあーと	・五感を使ってアート。ギャラリートークを体験します。
陶芸・絵手紙	・地域のサークルの方と一緒に作品をつくります。
太極拳	・十字法総師範から型を伝授。 ・半年以上継続で健康を実感
健康学習	・看護師からの健康に関する情報。
自治会活動	・荘でのより良い過ごしのため自主的な活動 ・行事（運動会・バーベキュー・文化祭・忘年会）
家族交流会	・学習会、情報交換 ・家族同士の交流

A:「僕の入所目的は麻痺した手足を動けるようにすることだ。いつまでも頑張るぞ！」

B:「僕はもう麻痺した手足には拘らない。今の自分に残された機能を最大限伸ばし、新人生を築くぞ！」